2024年度 事業所自己評価

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	R6年12月16日（13：00～13：30）
１．初期支援（はじめのかかわり）	メンバー（氏名）	岩田雅江、吉田英子、中川ゆき江、木村美佳、宮下裕美、中矢将大、清水優里香、加藤弥、壬生照子、内村有希菜、布目さおり、岩野洋子、伊藤さとみ、田中　孝直、佐々木　麻美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	2人	10人	1人	1人	14人

前回の改善計画
事前訪問で自宅環境の写真などを使用し情報をわかりやすく準備して、他職員への共有を図り初期の支援に役立てる。 利用開始時は、本人の様子や言動など、本人の気持ちが読み取れるような内容を細かく記録し、ミーティングで共有する。

前回の改善計画に対する取組み結果
事前訪問で自宅環境の写真などを使用し情報をわかりやすく準備して、他職員への共有を図り初期の支援に役立てる。利用開始時は、本人の様子や言動など、本人の気持ちが読み取れるような内容を細かく記録し、ミーティングで共有する ミーティングの内容の見直しを行い利用者についての話が出来る時間を多く取れるようにする。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	4人	10人	0人	0人	14人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	1人	12人	1人	0人	14人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	2人	12人	0人	0人	14人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	0人	13人	1人	0人	14人

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 傾聴し意見を聞く
- 思いに添えるよう　話を聞く
- 本人様が慣れてない時は、関わりを多くしている
- ケアマネだけでなく介護員も訪問時や送迎時ご家族からのお話を伺ったり、小規模での様子を伝えたりしている。また、メールも活用しなかなかお会いできない方とはやり取りできている
- 家族の不安を聞き相談する
- 不慣れな方への声掛け
- カンファレンスなどで情報を共有し、分からないことは他の職員に確認している。御本人の気持ちに寄り添いながら安心してご利用できるように支援させて頂く。
- よく情報を読んで、わからないことは他の人に聞いたりしている
- その方に寄り添った声かけをしている
- カルテなどの情報から、どのように関われば良いか考えてから支援している
- 利用前に新規利用者の情報をミーティングで共有して、更に写真を載せた紙面で情報が共有されている
- ミーティングや申し送りで情報の共有をしている
- 利用開始前に送迎時、訪問時、通所時の注意点などが職員間の情報で共有出来ている

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- 細部への理解と配慮
- 個人的な関わり方が、少ない日が多々ある
- なかなかお会い出来ず、お話しする機会が少ないご家庭もある
- 興奮されている方の誘導の仕方
- 家族との接点がないのでコミュニケーションがとれていない
- 御本人とご家族様の気持ちの違いがある。ご利用を始めてから知る情報もある
- 共有していても抜けがある
- メンバーさんのできることをご自分でやっていただくこと
- 実際利用してからの情報を細かく記録出来ていない
- 家族さんの要望は共有されているが、不安については分かりづらい
- 利用者さんとそのご家族の思いを知る事
- 支援について家族、本人の希望に添えていなかったりする点

次回までの具体的な改善計画　（200字程度）

・ミーティングでの利用者の共有事項は、対応についても話し合う時間を取っていく
・連絡帳がある方は家族との連絡共有、連絡帳がない方は電話などで共有する
・事前訪問での自宅写真の使用を継続して、情報共有と初期支援に活かしていく

2024年度 事業所自己評価

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	R6年12月17日（13：00～13：30　）
２．「～したい」の実現 （自己実現の尊重）	メンバー （氏名）	岩田雅江、吉田英子、中川ゆき江、木村美佳、宮下裕美、中矢将大、清水優里香、加藤弥、壬生照子、内村有希菜、布目さおり、岩野洋子、伊藤さとみ、田中　孝直、佐々木　麻美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	0人	14人	1人	0人	15人

前回の改善計画
「～したい」の聞き取りは、本人だけでなく必要があれば家族に聞いたり、折をみて何度か思いを聞く機会を持つなどして色々な活動を通して本人の想い「～したい」や「好き」を探る。 前年同様「～したい」実現の樹を壁画にし分かりやすく表示、また誕生日月を目安に想いが叶うよう支援する。
前回の改善計画に対する取組み結果
「～したい」の実現に向けては、本人からの聞き取りの他、家族からの情報も参考にする。また、折をみて想いを聞く機会を持ったりして色々な活動を行う中から本人の「～したい」や「好き」を探っていく。誕生日月を目安として「～したい」の実現に繋げていく。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	0人	4人	11人	0人	15人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	0人	4人	10人	1人	15人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	0人	8人	7人	0人	15人
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	1人	10人	4人	0人	15人

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 誕生日の時に、本人の希望を聞いて実現出来るようにしている
- 手作業など選択肢を出して決めてもらう
- お聞きした想いを実現しようとしている
- 利用者さんの要望を聞き取り、定期的にイベントを行ったり日常の生活の中で声かけをしたりして、したい事をかなえることが行われている
- ～したいと言える利用者については希望に添えるようにしている
- 日々の活動の中で、したい事や外出、食べたいものなどお聞きしながら取り入れている。誕生日などでできることもある
- 誕生日はメンバーさんとやりたい事をなどを聞いてお祝いできた
- 食べたい物を、おやつ作りなどを通して実現している
- したい事を紙に書き貼る
- 利用者さんのしたい事をしていただく
- 情報を共有している
- 日々の関わりの中で、ご本人のやりたい事や出来る事を探り、出来ることは他の方にもお聞きして活動できている。またそれをミーティングなどで職員間で共有している。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- 本人目標の把握と実現の援助
- まだ関わりが少ないためできていない
- 誕生日以外で個々の希望を聞いて実現するのは現在の状況だと難しい
- その場でしたい事を聞くことはしているが本人の目標はわかっていない
- ひとり1人のしたい事を把握できていない事がある。利用者さんにお聞きしても、ご自分の思いを伝えられない方の希望は聞けないことがあるので、ケアプランを参考にするしかないことがある
- 自分から発言や希望を伝える事の出来ない利用者の思いがわかっていない
- 意思疎通が取れない方もいる。こちらの都合に合わせる事もある
- やりた事を聞いてもできない時があった。
- 利用者の気持ちや、言おうとしている事を汲み取って、会話を繋げて
- したい事がなかなかできない
- 利用者さんのしたい事を把握出来ていない
- 情報の収集
- 日々の業務に追われて、利用者との関わりの時間が取れない日もある

次回までの具体的な改善計画　（200字程度）

・本人から意見を発せない人については、家族からの情報（以前のくらし）などで希望を見いだしていく
・本人のしたい活動を探るために、本人と関わったり話し合いの時間を持ち、聞き取った内容などについては、実現に向けて職員間で共有、話し合い、ケアに活かしていく（日々のミーティングだけでなく、毎月のミーティングを実施する）

2024年度 事業所自己評価

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	R6年12月18日（13：00～13：30）
３．日常生活の支援	メンバー（氏名）	岩田雅江、吉田英子、中川ゆき江、木村美佳、宮下裕美、中矢将大、清水優里香、加藤弥、壬生照子、内村有希菜、布目さおり、岩野洋子、伊藤さとみ、田中　孝直、佐々木　麻美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1人	9人	4人	1人	15人

前回の改善計画

「以前の暮らし方10項目」の聞き取りは、家族の協力も得て行い、利用者の理解・関心を深める。
聞き取った内容は申し送りに記入し職員間での共有につなげるようにする。
家族からや、本人様との話の中で聞き取ったことは申し送りをし、ケース入力をする。

前回の改善計画に対する取組み結果

「以前の暮らし方10項目」の聞き取りは、ご家族が遠方に住んでいる、住まいが別でご本人の暮らしに触れていないなど聞き取りが難しい場合は、電話などでのお話しする機会を利用するなどして聞き方を工夫していく。家族からや、本人様との話の中で聞き取った事は申し送りやケース入力をして共有していく。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	0人	3人	10人	2人	15人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	2人	13人	0人	0人	15人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0人	10人	5人	0人	15人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	4人	10人	1人	0人	15人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	3人	11人	1人	0人	15人

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 食事に関しては、体調によりかわることがあるため　その都度聞きながら対応できた
- リアルタイムでの本人からの訴えは応えるように努力している
- 体調の変化には気付けるようになっている
- ミーティングや申し送りで情報の共有と確認をしている
- 体調にあわせた食事形態の変更
- 本人様とお話をし気持ちなどを聞けた
- ミーティングで共有出来ている。体調の変化についてはすぐに対応出来ている
- 身体の傷や様子の変化は、その都度、報告やスタッフ間で話をしている
- 現状の変化への対応する事を心がけている
- 皆さんよく変化に気づいてくれてると思う
- 家族様からの連絡事項やきらめき内での様子を見て適切な対応ができていると思う
- ご本人の体調の変化には、職員同士が情報を共有して細かく配慮している
- 利用者の状態に合わせて、食事形態の変更や車イス使用など適宜対応出来ている。また、体調の変化や発言の変化などミーティングで共有している

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- 継続的な本人からの訴えに支援できていない
- 変化に気付いてからその方が入院するまで日数が掛かってしまった
- 以前の暮らし方、情報を把握出来ていない
- 以前の暮らしに近いようにできてない
- 以前の暮し方10項目が把握出来ていない
- リスク管理
- 職員同士のやり取りで終わり、申し送りに上がらない事は共有できていない時もある。

次回までの具体的な改善計画　（200字程度）

・「以前の暮らし１０項目」の把握は継続し、家族の協力もいただきながら、利用者の理解・関心を深める
・本人や家族からき聞き取った内容は、共有しケース入力をする

2024年度 事業所自己評価

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	R6年12月19日（13：00～13：30）
４．地域での暮らしの支援	メンバー（氏名）	岩田雅江、吉田英子、中川ゆき江、木村美佳、宮下裕美、中矢将大、清水優里香、加藤弥、壬生照子、内村有希菜、布目さおり、岩野洋子、伊藤さとみ、田中　孝直、佐々木　麻美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	0人	9人	6人	0人	15人

前回の改善計画
各職員も民生委員の情報を把握し独居など特に必要な方の支援に社会資源の活用が出来るようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果
各職員も民生委員の情報を把握し独居など特に必要な方の支援に社会資源の活用が出来るようにする。 独居の方については地域の方とどのような繋がりを持っているかなどの共有をし、必要があれば民生委員にも情報の共有をする。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	0人	8人	7人	0人	15人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	0人	7人	8人	0人	15人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0人	6人	9人	0人	15人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0人	3人	11人	1人	15人

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- メンバーさんと地域のお店にお出掛けなどをした
- 関わりが全くないわけでない事は把握している
- 訪問した時に、接する事のない時間の情報収集をする
- 広報誌などで、毎月の活動を写真とともに報告出来ている
- 特定の利用者さんの情報は把握できている
- 自宅での事について、近所の方や市の方からの情報を得る事がある
- 通所しておられない時の生活のしかたは訪問した職員から共有されている
- 情報を収集しようと心掛けている
- 買い物は利用者と一緒に行き、地域に出向いている
- 訪問看護対応
- ご本人やご家族から伺い、どのような生活をされていたかをライフサポートプランに書き込み共有している。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- 民生委員の事を理解不足
- ハウス以外での支援が必要な方がどれだけいるかは把握していない
- 地域との関わりや民生委員さんとの把握が出来ていない
- 地域で気になる方や、事例を通して共有する時間がとらていない
- 自宅で過ごしている時間の様子を把握出来ていない
- お一人お一人の、これまでの生活スタイルや人間関係は把握できていない
- まだ日が浅いので理解不足
- これまでの生活スタイル人間関係など把握出来ていない。地域の事も理解出来ていない
- ご本人の地域との関わりの継続は出来ていない

次回までの具体的な改善計画　（200字程度）

・現在、地域とのつながりが出来ている部分を継続していく
・利用者が、地域の方とどのような繋がりを持っているかを把握、共有し、新たな問題が起きた時には社会資源も活用しながら解決していけるように取り組む

2024年度 事業所自己評価

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	R6年12月20日（13：00　～13：30）
５．多機能性ある柔軟な支援	メンバー（氏名）	岩田雅江、吉田英子、中川ゆき江、木村美佳、宮下裕美、中矢将大、清水優里香、加藤弥、壬生照子、内村有希菜、布目さおり、岩野洋子、伊藤さとみ、田中　孝直、佐々木　麻美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	0人	11人	4人	0人	15人

前回の改善計画

介護保険サービスの使い方や小規模利用についての理解を深めてもらう。
本人に合わせての利用の仕方を検討していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

サ高の利用者が多くなっているが、不安な気持ちから利用が多めになっている方については、在宅へ向けた支援を行なっていく。
自宅への思いが大きい方について、きらめきで安心して過ごせる工夫をして自宅でも工夫によっては過ごせるといった提案を行なっていく。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	1人	10人	4人	0人	15人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	2人	12人	1人	0人	15人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	1人	14人	0人	0人	15人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	3人	11人	1人	0人	15人

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 急な宿泊にも対応出来ている
- 家族さんのご都合に対応出来ている
- 災害時の宿泊対応
- 日々の関わりから変化に気づきがあった時は共有できている
- 家族の都合にて通い、訪問、宿泊を取り入れている。職員間で情報を共有しながら柔軟な対応ができている。
- コロナ時などは宿泊など可能な限り柔軟に対応している
- 利用者さんの状態やニーズに合わせて対応する
- 家族の希望する支援をしている
- 本人への柔軟なサービス提供
- 独居の方のゴミ捨てを地域の方にお願いしている。その日の状況により訪問対応にしたり、宿泊で様子を見たりと適宜に対応出来ている
- 通所困難時は、訪問に切り替えたら、訪問の時間、支援の方法を、都度変えて対応している
- 利用者さんの変化は、職員同士で共有できている

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- 関わりが少ないため
- 本人様が望むサービスの使い方が出来ていない
- 詳細な調整
- 緊急時の宿泊者の看護対応
- 分かりません
- 家族が望んでも本人は嫌がる事もある。過剰なサービスの使い方をされている方もいるか
- わからない
- 宿泊は人数の制限がある為、曜日によっては困難な場合がある
- 利用者のニーズに合わせて対応する
- 利用者本人の希望にそっていない事もある
- 通いのサービス
- 認知症の症状や家庭の状況により、宿泊に偏ったりお休みが全くない方がいらっしゃる。
- スタッフが、少なく、対応の時間が遅くなったりする
- 地域の資源の活用はできているかどうか分からない

次回までの具体的な改善計画　（200字程度）

・本人が望むサービスやご家族の状況を把握しながら、また、家族と本人の状態の情報共有をこまめに行いながら、在宅で過ごせる時間を増やせるように柔軟に対応していく

2024年度 事業所自己評価

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	R6年12月23日（13：00～13：30）
６．連携・協働	メンバー（氏名）	岩田雅江、吉田英子、中川ゆき江、木村美佳、宮下裕美、中矢将大、清水優里香、加藤弥、壬生照子、内村有希菜、布目さおり、岩野洋子、伊藤さとみ、田中　孝直、佐々木　麻美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1人	9人	5人	0人	15人

前回の改善計画
家族、医療機関、事業所間の連携により、利用者の状況を細かく観察する。
前回の改善計画に対する取組み結果
利用者の観察を通して異常の早期発見に努め、職員間の共有を十分に行い統一したケアに繋げる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	2人	8人	3人	2人	15人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1人	5人	3人	6人	15人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	2人	6人	4人	3人	15人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0人	5人	6人	4人	15人

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 町内会、消防団の活動には、参加出来ている
- 地域のお店に外出している
- なにか不便があればすぐに福祉用具を導入できている
- 小規模のある地域の社会奉仕や、防火訓練などには利用者と介護員で参加出来ている
- 他のサービス機関に、体調変化があった際に連絡をとっている
- イベントや行事の参加
- きらめき祭、外出行事など今年は地域との交流が出来ている。ボランティアの方の訪問で歌や踊りを楽しむ事も増えている
- 夢カフェなど身近な事から参加できればいいと思う

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- 地域との関わり
- 商工高校の生徒さんが授業の一環でくる事はあるが、地域の方が自由に訪れる事はない
- 地域の会議参加は出来ていない
- その他のサービス機関との会議はケアマネが行っているため、参加していない
- 子どもの地域住民は訪れない。地域住民との関わりがあまりない
- ご家族以外には外部からの訪問者はなかなか来られていない

次回までの具体的な改善計画　（200字程度）

・訪問診療が入っており医療部分での対応が迅速に出来ているので継続して家族や職員間の情報共有をしていく
・地域の社会奉仕やイベント、外出は継続し、きらめき祭りやボランティアの方など、地域の方々との関わりの機会も作っていく

2024年度 事業所自己評価

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	R6年12月24日（13：00～13：30）
７．運営	メンバー（氏名）	岩田雅江、吉田英子、中川ゆき江、木村美佳、宮下裕美、中矢将大、清水優里香、加藤弥、壬生照子、内村有希菜、布目さおり、岩野洋子、伊藤さとみ、田中　孝直、佐々木　麻美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	0人	9人	6人	0人	15人

前回の改善計画
利用者の声を拾い上げ運営に繋げていく。 参加家族を増やせるよう開催方法の工夫をする。

前回の改善計画に対する取組み結果
運営推進会議の参加を増やせるように、リモートでの参加や１年に１度でも参加していただけるような声かけなどして提案方法を検討していく。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	0人	9人	5人	1人	15人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1人	12人	2人	0人	15人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1人	12人	2人	0人	15人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	3人	8人	3人	1人	15人

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ご家族からの意見は他の職員に報告している
- 地域の方からの情報、苦情にはすぐに対応していると思う
- 依頼や、学校等の協力は、積極的に取り入れている
- 家族さんからの要望があれば迅速に対応出来ている
- 防火訓練や避難訓練を通して、地域の方と意見交換や協力体制が出来ている
- 苦情など把握し地域と協力しながら取り組んでいると思う
- 利用者や家族からの意見は共有している
- ご家族様からの苦情や要望には迅速に対応している

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- 地域の方と接する機会がなかった
- 運営推進会議の参加家族が増えない
- 必要とされているとは聞くが、こちらからのアピールが足りない
- 地域から施設に来られる
- 地域からの声が現場のほうにまで降りてきてない
- 連絡網
- ご家族からの苦情の内容によっては反映できていない事もあるのかなと思う
- 運営推進会議など参加した事がなくあまり理解できていない
- 事業所のあり方については意見を言う事はない
- 事務所の在り方は把握していない
- 公民館などのイベントへの参加

次回までの具体的な改善計画　（200字程度）

・リモートで参加される家族もおられるが、参加家族を増やしていけるように開催日の検討や案内を行っていく
・毎日のミーティングだけでなく毎月の部門ミーティングを行い、事業所運営についても話し合う場を作っていく

2024年度 事業所自己評価

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	R6年12月25日（13：00　～13：30）
８．質を向上するための取組み	メンバー（氏名）	岩田雅江、吉田英子、中川ゆき江、木村美佳、宮下裕美、中矢将大、清水優里香、加藤弥、壬生照子、内村有希菜、布目さおり、岩野洋子、伊藤さとみ、田中　孝直、佐々木　麻美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1人	11人	3人	0人	15人

前回の改善計画

職場会議でも学習会を継続して行い、１０の基本ケアに沿った介助を行っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

新しい職員は10ケアの講習会を受ける。
10の基本ケアの研修を受けても忘れてしまうこともあるので改めて学習する機会を設ける様にする。
職場会議などで10ケアの各章の勉強会を行なう。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか？	1人	10人	3人	1人	15人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか？	1人	7人	6人	1人	15人
③	地域連絡会に参加していますか？	0人	1人	8人	6人	15人
④	リスクマネジメントに取組んでいますか？	0人	11人	4人	0人	15人

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ヒヤリ、事故があった場合共有し分析対応を話しあっている
- 10ケアを意識しての介助をしている
- 認知症研修やリスクマネジメントなど外部や職場で研修出来ている
- 研修に参加している
- 研修の参加するよう職場からの働きかけがあるため参加できている
- 課題や、勉強習いようを再度勉強会などを開いている
- 何かあればすぐに報告、共有が出来ている
- リスク特定予防
- 紙での研修や学習はしっかり出来ている
- 利用者の動作時に危険な物がないか環境を整える。事故があった時は対策を話し合っている

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- 学んだ事が十分にいかせていない
- リスクマネジメント
- 地域連絡会には参加したことがない
- 研修参加、学習会がハウス内で出来ていない
- 職場以外の研修には参加出来ていない
- 地域連絡会に参加はしていない
- 資格所得やスキルアップが、事業所のみしか出来ていない
- 新人職員には10の基本ケアについて話ができていない
- 実地での研修はできていない

次回までの具体的な改善計画　（200字程度）

・10の基本ケア委員会を中心に、新人職員に10の基本ケアについて学習する機会を作る
・内外での介護技術の研修や学習会に、個人の課題や目標を把握し、職員一人ひとりが参加できるようにする
・学んだことは、毎月のミーティングで他職員にも伝えていく機会を作る

2024年度 事業所自己評価

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	R6年12月26日（　13：00～13：30）
９．人権・プライバシー	メンバー（氏名）	岩田雅江、吉田英子、中川ゆき江、木村美佳、宮下裕美、中矢将大、清水優里香、加藤弥、壬生照子、内村有希葉、布目さおり、岩野洋子、伊藤さとみ、田中　孝直、佐々木　麻美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	2人	12人	0人	1人	15人

前回の改善計画
セキュリティ管理に関してはチェックを確実にして、事故が無いようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
家族や関係機関とのメールのやり取りではダブルチェックを行い誤送信しないようにする。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	10人	5人	0人	0人	15人
②	虐待は行われていない	13人	2人	0人	0人	15人
③	プライバシーが守られている	6人	9人	0人	0人	15人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0人	11人	1人	3人	15人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6人	9人	0人	0人	15人

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 虐待は無く、何事にも優しく接している
- 個人情報の管理
- メールの送受信については間違いなく出来ている
- 個人情報は、外部に出す時は、個人名等は、消して、イニシャルにしたり、書類は、シュレッダーッダー
- 拘束や虐待は行われていない
- 身体拘束　虐待はない。人権やプライバシーは守られている
- 施錠せず、自由に出入り出来る
- 個人情報の入った棚は鍵をかけている
- 人権を尊重すること

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- プライバシーを守る
- 個人の名前が入った衣類、薬の袋などが他の利用者のカバンや連絡帳に入ってしまったりした
- 成年後見制度の意味の理解不足
- 他の利用者様の近くで個人的な話しをする事がある。他の方に暴言や攻撃的な行動は無理に止る事がある。言葉かけや席に座っててなどの拘束がある。
- 成年後見制度を活用している方が居るのかよくわからない
- 早見表などの置き場
- 後継人との連絡

次回までの具体的な改善計画　（200字程度）

・前回に引き続きメールのやり取り等ダブルチェックを行い、誤送信がないようにする
・利用者の近くで他の利用者の情報について話をしないよう配慮する
・虐待、身体拘束の学習会を継続する